**別紙4**

施設の点検、補修及び修繕の実施状況

| 部局名等 | 点検日 | 内容 |
|---|---|---|
| 医学系研究科放射性同位元素使用施設 | 令和7年7月25、28、29日<br>令和8年1月21～31日 | ・壁にひび割れあり<br>→シーリング材にて充填補修済。<br>・天井と壁に隙間が生じた。<br>→シーリング材にて充填補修済。<br>・壁にキズ、塗装のはがれ及びヘアクラック<br>あり<br>→シーリング材にて充填補修後、ビニル塗装済。<br>・巾木の浮きが発生した。<br>→シーリング材で補修済。 |
| 医学系研究科保健学専攻放射性同位元素等使用施設 | 令和7年9月1日～9月30日<br>令和8年3月1日～3月31日 | |
| 医学部附属病院放射性同位元素等診療施設 | 2025/6/12～6/30<br>2025/12/15～2026/1/15 | 異常なし |
| 歯学部附属病院放射性同位元素等診療施設 | 令和7年9月24日、令和8年3月17日 | 異常なし |
| 工学研究科放射性同位元素等使用施設 | 令和7年7月7日～7月19日、<br>令和8年1月6日～1月17日 | 標識が退色していたため、塗装し直した。 |
| 生命機能研究科放射性同位元素等使用施設 | 令和7年9月22日～9月26日<br>令和8年3月2日～3月19日 | ・R7.3.3に、放射線中央監視装置にHVエラー表示が出たため確認したところ、排気中のベータ線を測定するためのベータ線ガスモニタが作動しないことが分かった。<br>→R7.3.7に、アロカに故障の原因について調査を行ってもらったところ、測定器本体の制御基板の損傷があることが分かった。すでに部品供給が停止しているため、修理不可であることが分かった。R7.3.13に更新の見積もりを行ったところ、638万円の費用がかかることが分かり、現在保留中。排気のRI数量は計算による算定で管理を行っている。<br><br>・貯留水の放射線量を測定するための$\beta$線、$\gamma$線の水モニタが作動しない。→R5.4.19に、故障の原因について調査を依頼したところ、放射線量測定器へサンプルを送る電磁弁の故障が判明した。修理の見積もりをお願いしたところ、システムの更新を含めて修理費用が、25,927,000円となることが分かり、現時点での修理は保留とした。現在、排水時の放射線量の測定は、RI使用量をもとに計算により算出する方法で運用している。 |
| 微生物病研究所放射性同位元素実験室 | 令和7年7月7日～7月11日<br>令和8年1月5日～1月9日 | 異常なし |
| 蛋白質研究所放射性同位元素実験室 | 令和7年8月18日～8月22日<br>令和8年2月9日～2月14日 | RI施設点検(異常なし)<br>RI施設点検(異常なし) |

| | | |
|---|---|---|
| レーザー科学研究所放射性同位元素等使用施設 | 令和7年4月1日～4月10日<br>令和7年10月1日～10月10日 | 異常なし |
| 附属ラジオアイソトープ総合センター(吹田本館)放射性同位元素等使用施設 | 【附属ラジオアイソトープ総合センター（吹田本館）放射線施設分】<br>令和7年7月1日～7月2日令和8年1月6日～1月7日<br>【医学科放射線施設分】<br>令和７年７月２５、２８、２９日令和８年１月２１～３１日 | 【附属ラジオアイソトープ総合センター（吹田本館）放射線施設分】<br>異常なし<br>【医学科放射線施設分】<br>・壁にひび割れあり<br>→シーリング材にて充填補修済。<br>・天井と壁に隙間が生じた。<br>→シーリング材にて充填補修済。<br>・壁にキズ、塗装のはがれ及びヘアクラック<br>あり<br>→シーリング材にて充填補修後、ビニル塗装済。<br>・巾木の浮きが発生した。<br>→シーリング材で補修済。 |